

No.114

震災に使える山用品 2

笹原芳樹
カモシカ・スポーツ



レスキューシート類のいろいろ

左がハイマウント社（日本）のサバイバルシート シルバー ¥525 とゴールド ¥630 サイズ 210×130 cm 重量 45g
右から 2 番目がゼンゲン社（ドイツ）のレスキューシート ¥1,942 220×160 cm 50g
右が MPI 社（USA）のエマージェンシーブランケット ¥525 142×214 cm 50g
この軽いコンパクトなシートをすべての登山者は 1 人 1 コ必ず持ってもらいたい。山ではもちろん山以外でも役立つ時があるかもしれない……



銀マット

標準的なサイズは 1×2m×2 mm 重量 230g
左はラッキーショップ社 ¥1,470 M サイズ (L サイズもある) 他にも各メーカーからいろいろ発売されている 右は同社の厚さ 1 mm のコンパクトタイプ ¥1,050 120g

姿を消した山用品は

震災後は被災地と次元が違うものの東京でもいろいろと大騒ぎでしたよね。お米にカップラーメン、パンなどがお店より姿を消してしまいました。私事ですが、朝はパン食ですので少々困っちゃいます。冷凍しておいた在庫で食いつなぎましたが 1 週間ほどはありつけませんでした。

もうしばらくダメだろうなあ、とあきらめていたところ震災から 10 日後に行った里山のふもとのパンの製造元、小売部門でそれはそれはおいしそうな食パンを売っていたので喜び勇んで買って帰ったのです。その時は本当にうれしくて 100

円のカレーパン（安い！）もついでに購入して、その場で食べちゃいました。イヤ〜これも超おいしかったです。その上、近くの酒屋さんで買ったエビスビールとのハーモニーは言葉では表現ができないほどすばらしいもので、すごく幸せを感じました。

あと例の水道水の報道からは、水のペットボトルもスーパー、コンビニ、そして自動販売機ですら見かけなくなりました。私は自宅に何リットルも水を用意してあるし、高性能な浄水器も所有しているの、その点は心配なくペットボトルはまったく購入しませんでした。皆さんはどうでしたか？

ところで当社カモシカスポーツで

もたいへんなことになりました。まづランタンが売り切れ、ヘッドランプや電池、コンロやボンベ、それに食糧に安いシュラフなどがみられる店頭から消えていったのです（他の山用品は全然売れてませんけどね）。

ではこれら売り切れた商品やその他防災に役立つ用品をご紹介します。たしましょう。

●レスキューシート……今回も一時期メーカーサイトでも売り切れ状態となりましたが、阪神淡路大震災時よりは品切れした時期は短かったです（寒い日が続きましたが

今回は 3 月なのに対し阪神淡路は 1 月という冬本番だったからでしょう）。でレスキューシート（別名

サバイバルシートとかエマージェンシーシートなどともいう）は極薄のポリエステルのフィルムにアルミ蒸着させた布団サイズの判のシートで、畳むとタバコの箱より小さいくらいで、広げてくるまれば毛布 2〜3 枚の保温力があるとのこと（個人的にはそこまで暖かいとは思いませんけれど）。種類に表裏が金色と銀色のタイプと両面が銀色のタイプがあり、銀色は熱や光を反射させ金色は熱を吸収する働きを利用し、通常ビバーク時には銀色を表に使用、ケガや骨折による体温低下時には金色を表にします。登山者には必ず常に 1 人 1 コは持つてほしい商品です。

●銀マット……テントを所有されている方ならたいいてい持っている 1 m×2 m×2 mm の薄いながらも断熱性の高いマットで防水性もあります（サイズや厚みは他にもいろいろあり）。今回も体育館など一部の避難所で大いに役だったようです。普段では花見などのシートとしても使えます。

今回も前置きがあったばかりに 2 点しか紹介できません。次回からは次々と述べさせていただきます。